

令和元年 5 月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和元年 5 月 29 日 (水) 開 会 午前 9 時 30 分
閉 会 午前 11 時 00 分
- 2 会 場 茅野市役所 705 会議室
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 小平 光子 教育委員 濱 勝之
教育委員 永嶋 陽子
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 平出 信次
こども課長 五味 健志 幼児教育課長 五味留美子
学校教育課長 五味 正 生涯学習課長 藤森 隆
中央公民館教育係長 田中 ひろみ 博物館係長 両角 英彦
スポーツ健康課長 中村 浩明 こども係長 宮下 孝
教育総務係長 立石 淳二 生涯学習係長 伊藤 研一
教育指導主事 畑中 紀之 教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 3 名

5 月定例教育委員会次第

日 時 令和元年 5 月 2 9 日（水）午前 9 時 3 0 分から

場 所 市役所 7 0 5 会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）市議会 6 月定例会一般質問について

（2）市議会 6 月定例会に提出される予定の議案に対する意見について

（3）図書館協議会委員の委嘱について

（4）教育委員会関係の人事について

（5）県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

5 検討事項

（1）総合教育会議の開催について

6 その他

（1）玉川小学校教諭の不祥事について

（2）各校の非違行為防止研修及び業務改善の取組みについて

（3）みどりヶ丘保育園の統廃合に対する市の方針について

（4）平成 30 年度相談状況について

（5）平成 30 年度「早寝・早起き・朝ごはん」について

（6）令和元年度主幹指導主事学校訪問日程について

（7）令和元年度英語教育及び ICT 教育の状況について

（8）台湾交流事業について

(9) 前宮遺跡の発掘調査について

次回定例教育委員会日程について

6月26日(水) 9時30分「705会議室」
(事務局会議 6月12日(水) 13時30分「704会議室」)

7 閉会

教育長

只今から5月定例教育委員会を開催します。

前回4月の会議録の確認をします。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

報告事項に入ります。報告第1号をご覧ください。

1日から6日までは、10連休でした。

7日に新市長の初登庁、就任式、部課長会、地域経営会議、新市長歓迎会がありました。

8日に長峰中学校の英語の授業を見学してきました。

茅野高校に訪問させていただき、とても落ち着いて授業に取り組んでいました。小中学校と茅野高校との間で、小中高連携教育につながるような事を考えていこうと話し合いを進めました。

授業づくり研修会を開き、若い先生方に出席を取らずに自主的に来てもらい、1時間30分ほど授業づくりについて話し合いを設けました。今回は30名近くの先生方が来てくださいました。授業の発問づくりを通して、とても楽しい研修会となりました。

9日に関東地区教育長協議会がありました。

10日に関東地区教育長協議会、調べ学習審査委員会、市P連総会、ロングモント結団式がありました。

12日に玉川小関係の対応がありました。教育委員の皆様ありがとうございました。また後ほど詳しいことをお話しさせていただきます。

13日にみどりヶ丘保育園の回答があり、今後10年間は廃止を行わないということです。

14日に新しい議員さんが決まり、臨時議会がありました。

16日に北部中学校で市のコンプライアンス研修を行いました。先生方の感想をお聞きますと、自分事として捉えることと、仲間とともに歩んでいこうという意見が多かったです。

21日に文化財審議会、小津安二郎映画祭実行委員会がありました。

22日に行政アドバイザーの森田洋司先生がお見えになりました。この日は宮川小学校で先生方にお話しをしてくださいました。宮川小学校の教育をどのような方向に持っていくかのご提案をしてくださいました。

23日に新しい市長さんに教育委員会の施策説明をしました。

24日に市民館取締役会、宮川小学校でセカンドブック手渡し会、市業務改善委員会、縄文祭り実行委員会がありました。

26日に諏訪地区のPTA指導者研修会、「読み一む in ちの」の初めの会がありました。

27日に諏訪地区市町村教委連絡会、市民館株主総会がありました。

28日に文化庁調査官との情報交換会がありました。

本日29日は、定例教育委員会、議会運営委員会、サポートC総会があります。

30日に市防災会議、幼保小連携協議会があります。

31日に議会開会となります。

報告は以上となります。

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から4月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項について何かありますか。無いようですので次に移ります。

議案第1号「市議会6月定例会一般質問について」をお願いします。

こども部長

議案第1号の資料をご覧ください。令和元年度6月定例会一般質問通告一覧について、こども部長と生涯学習部長よりそれぞれご説明させていただきます。

こども部については5件、生涯学習部については4件の質問が寄せられています。

発言順序1の伊藤玲子議員より、子ども達を守り健やかに育むための取組について2項目の質問をいただいております。1つは園児の散歩コースと児童の登下校の安全対策の現状について。もう一つは玉川小学校の事件からの教訓をどう活かしていくのか。についてです。

続いて、発言順序5の樋口敏之議員から永明小学校永明中学校建設基本構想について3項目の質問をいただきました。1つ目に基本構想案をどう活用していくか。2つ目にちの保育園の位置づけについて。3つ目に学園都市の考え方についてです。

続いて、発言順序7の吉田基之議員より、2020年東京オリンピック・パラリンピックによる地域振興策等について、こども部と生涯学習部で2項目の質問をいただいております。1つ目の障害者スポーツから学ぶものについては生涯学習部の関係になります。2つ目の子どもへの教育的効果についてはこども部の関係になります。

生涯学習部長

発言順序 8 番の両角実晃議員より茅野市スポーツ推進計画について 4 項目のご質問をいただきました。1 つ目に、茅野市スポーツ推進計画の進行状況について。2 つ目に、競技力の向上に向けた体制、指導者養成の推進について。3 つ目に、市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備について。4 つ目に総合型地域スポーツクラブについて聞きたいということで、質問がきております。

こども部長

裏面をご覧ください。発言順序 13 番の木村かほり議員より、子育て施策について 7 項目のご質問をいただいております。1 つ目に「育ちあいちの」の相談の手順について。2 つ目に「育ちあいちの」の周知方法について。3 つ目に「育ちあいちの」の支援体制について。4 つ目に家庭教育センターの相談窓口について。こちらは生涯学習部の絡みもあります。5 つ目に不登校等の対応について。6 つ目に中学校のサポートルームについて。7 つ目に多忙な教職員への支援体制についてご質問をいただきました。

続いて、発言順序 17 番の望月克治議員より学童クラブの運営について 3 項目のご質問をいただいております。1 つ目に配置基準の変更について。2 つ目に茅野市において現状の配置基準に問題はあるかについて。3 つ目に配置基準が変わった場合の対応についてです。

生涯学習部長

続いて発言順序 17 番の望月克治議員より地方分権一括法による社会教育への影響について 3 項目の質問をいただいております。1 つ目に地方分権一括法と社会教育の関わりについて。2 つ目に公民館活動や図書館運営での影響について。3 つ目に住民自治の原点ともいえる社会教育の国会原則についてです。

こども部長

説明については以上となります。ご質問等ありましたら、よろしくお願いいたします。

教育長

よろしいでしょうか。

続いて、議案第 2 号「市議会 6 月定例会に提出される予定の議案に対する意見について」をお願いします。

こども部長

議案第 2-1 号の資料をご覧ください。

茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてです。

理由についてですが、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正及び元号を改める政令の施行に伴い、関係規定を整備するため、本条例を提案するものです。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する一部を改正する省令が厚生労働省より平成 31 年 3 月 29 日に交付され、同年の 4 月 1 日から施行されました。この省令は市町村の条例で放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準を定める際に従うべき基準、参酌すべき基準を定めるものです。今回は放課後児童支援員の資格を得るための研修に係る規定が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

改正条例の本文になりますが、網掛けの部分が今回の改正をお願いする部分となります。第 11 条の第 3 項の改正についてですが、放課後児童支援員の資格については、条例第 11 条第 3 項の各号に定める一定の基準を満たす者が都道府県の研修を修了しなければならないとなっていました。この研修については、研修需要に適切に対応できるようにするために、都道府県以外にも、地方自治法第 252 条の 19 第 1 項の指定都市もこの研修を行えるように省令の改正が行われました。これに合わせて改正するものとなっています。

続いて、附則の第 2 条についてとなります。この条については、この条例を平成 26 年に定めた際に施行の日から平成 32 年 3 月 31 日までの間において経過措置を定めたものになります。元号を定める政令によりまして、元号が 5 月 1 日をもって平成から令和に改まったことにより平成 32 年を令和 2 年と改めるものです。

この条例は交付の日から施行されます。

続いて、議案第 2-2 号をご覧ください。茅野市一般会計補正予算書についてとなります。

1 ページをご覧ください。令和元年度の茅野市一般会計補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによります。なお、平成 31 年度予算全体における元号の表示について、「令和」に統一するものとします。

第 1 条では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 192,491 千円を追加し、歳入歳出それぞれ 25,612,491 千円とするものです。

第 2 条では、地方債を補正するものとなっています。

2、3 ページをご覧ください。第 1 表の歳入歳出予算補正で款項の補正額につきましては、4、5 ページの中央列に記載の通りとなります。

6 ページの第 2 表をご覧ください。こちらでは、地方債補正が一件あります。保育所改修事業の起債限度額を 579,900 千円から 588,000 千円に増額をお願いするものです。起債の方法、償還の方法については、第 2 表の通りとなります。

7 ページから 9 ページは歳入歳出補正予算事項別明細書の総括となります。10 ページからは、歳入の明細。14 ページからは歳出の詳細です。

初めに、教育委員会に係る歳出よりご説明させていただきます。

3 款の民生費についてですが、25,828 千円の補正増をお願いするものです。内容は 2 項 1 目 2 一般経費で、13,221 千円の増です。本年 10 月から予定されている幼児教育の無償化に

対応するためのシステム改修に係る委託料を補正予算計上するものです。特定財源としては、県補助金の子ども・子育て支援事業費補助金を全額充てます。

続いて、2 項 2 目 12 保育所施設整備事業費で 12,607 千円の増となります。みどりヶ丘保育園の統廃合につきましては、地元と協議を進めていましたが、宮川地区の園児数は当初想定していたより減少しない見込みとなり、園児の受け入れが困難となるようなことが想定されますので、今後 10 年間はみどりヶ丘保育園を存続させることとなり、施設の耐震改修等に係る設計委託料を補正予算計上するものです。特定財源として、緊急防災・減災事業債が 5,100 千円、公共施設等適正管理推進事業債が 3,000 千円を充てるものです。この件につきましては、その他で詳細なご説明させていただきます。

続いて、18 ページをご覧ください。10 款の教育費になります。教育費で 24,468 千円の補正増をお願いするものです。内容は 2 項 2 目 2 小学校情報教育推進費で 10,969 千円の増です。学習指導要領が改定され、双方向の授業を行うことが必要となることから、そのツールとして、児童用の学習タブレット端末を導入するとともに平成 30 年度に普通教室で整備した校内情報配信システムを特別支援教室及び特別教室に整備するための事業費を補正予算計上するものです。

続いて、3 項 2 目 2 中学校情報教育推進費で 4,875 千円の増です。20 ページをご覧ください。こちらも小学校情報教育推進費と同様の理由によりまして、中学校で生徒用の学習タブレットとともに校内情報配信システムを整備するための事業費を補正予算計上するものです。

続いて生涯学習費については、生涯学習部長からご説明します。

生涯学習部長

5 項 2 目の文化芸術振興費ということで、3,700 千円を増額するものです。内容については、市民館で行われるイベントになりますが、蓼科にアトリエを構えている中林忠良さんの展覧会を実施するための事業費を増額させていただくものです。

続いて、6 目の図書館費についてですが、図書館に設置されているボイラーが故障してしまったことによる修繕費として、4,924 千円の補正増をさせていただくものです。

こども部長

以上が歳出についてとなります。次に 10 ページの歳入について説明をさせていただきます。教育委員会に関わるものとしては、16 款の県支出金 13,221 千円の増となっており、こちらは、先程の無償化に関わる部分となっています。

続いて、21 款の諸収入 22,351 千円の増となっており、こちらは、生涯学習部長から説明のありました、地域の芸術環境づくり助成金の関係となります。

12 ページをご覧ください。22 款の市債 8,100 千円の増となっています。こちらは、先程の保育園の改修事業についての関係となります。

議案第 2-2 号については、以上となります。

続けて議案第 2-3 号をご覧ください。平成 30 年度茅野市一般会計予算繰越明許費繰越計算書についてとなります。平成 30 年度茅野市一般会計補正予算の繰越明許費は、別紙のとおり翌年度に繰り越しましたので、地方自治法施行令第 146 条第 2 項の規定により議会へ報告するものです。

2 ページをご覧ください。教育委員会に関係するところをご説明いたします。民生費の児童福祉費保育所費になりますが、事業名は「病児・病後児保育支援事業費」です。金額は、4,569 千円になります。病児・病後児保育施設の整備について、12 月補正で予算化したが、設計業務が年度内に完了しないためです。令和元年 6 月 28 日に完了予定です。

次に事業名「保育所施設整備事業費」です。金額は 68,861 千円となります。保育園の空調設備設置について、12 月補正で予算化したが、年度内に事業が完了しないためということです。令和元年 6 月 28 日完了予定となっています。

次に 3 ページをご覧ください。10 款教育費の 2 項小学校費の 1 目学校管理費です。事業名は「小学校施設整備費」です。金額は 590,864 千円となります。小学校の空調設備設置について、12 月補正で予算化したが、年度内に事業が完了しないためです。令和 2 年 3 月 31 日完了予定です。

次に 10 款教育費の 3 項中学校費の 1 目学校管理費です。事業名は「中学校施設整備費」です。金額は 311,105 千円となります。中学校の空調設備設置について、12 月補正で予算化しましたが、年度内に事業が完了しないためです。令和 2 年 3 月 31 日に完了予定です。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に議案第 3 号「図書館協議会委員の委嘱について」をお願いします。

生涯学習課長

議案第 3 号の資料をご覧ください。図書館協議会の委員につきましては、茅野市図書館条例第 6 条の規定に基づきまして、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験がある者の中から教育委員会が任命することとなっています。今回 12 人いますが、再任の方が 1 番から 6 番まで。新規の方が学識経験者の伊藤英一郎さん。校長会から湖東小学校校長の下平香代子さん。学識経験者の戸田茂生さん。司書教諭の会から北部中学校の轟洋太さん。図書館ボランティアより百瀬るみさん。茅野市

園長会より小泉保育園園長の柳平絹子さんをお願いするものです。なお、任期につきましては、平成31年4月1日から令和3年3月31日までとなります。こちらにつきまして、承認をお願いするものです。

教育長

ありがとうございました。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

続いて、議案第4号「教育委員会関係の人事について」をお願いします。

生涯学習課長

議案第4号の資料をご覧ください。後ほど、その他において玉川小学校の件でご説明があると思いますが、今回、公民館にいらっしゃいました教育支援指導主事の野澤幹雄先生が、5月26日をもって退職となりました。後任としまして以前、学校教育課にいらっしゃった伊藤洋児先生を教育支援指導主事として、5月27日よりお願いするものであります。

こちらにつきましても、承認をいただきたいと思います。

教育長

ありがとうございました。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

次に議案第5号「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」をお願いします。

学校教育課長

議案第5号の資料をご覧ください。内容につきましては、長野県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整についてとなります。長野県教育委員会と市町村教育委員会は、全県的視野に立って教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の任免その他の進退等に関して、次の了解事項を取り交わすといった内容となっています。

毎年、教育委員会で結印をし、6月1日から次の年の5月31日までの間これを実施するものとなっています。

了解事項の1つ目として、教職員の任免その他の進退について。2つ目として、令和2年度教職員人事異動の基本方針について。3つ目として、1及び2の取り扱いについては、別紙覚書によって適正に行う。4つ目として、人事の仕組みの検討について。5つ目として、人事異動方針の見直しについてという点になります。以上の内容となります。昨年と大きく変わった箇所はありません。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

次に検討事項1「総合教育会議の開催について」お願いいたします。

学校教育課長

総合教育会議の開催についてとなりますが、昨年は教育大綱の策定をしていただきました。今年度は市長が今井市長に変わられましたので、議題等で取り上げていただきたいものがありましたら、ご意見をいただきたいと思います。

教育長

ありがとうございました。ご意見等ありますでしょうか。

市長さんの教育に対するご意向を聞く方向で進めたいと思います。

次にその他1「玉川小学校教諭の不祥事について」となります。

1つ目に町田教諭は現在も警察の取り調べ中です。今週には終わるのではないかなと思いますが、警察で取り調べているところですので、はっきりは分かりません。

その後の経過については、既にご報告の通りですので、特に子ども達の関係について、改めてご報告したいと思います。事件の後、玉川小学校に2名のスクールカウンセラーを配置しました。小学校時代に町田教諭とクラブ・児童会等で関係があった生徒がいる東部中学校へも1名スクールカウンセラーを配置しました。6年2部の子ども達に対する全員のカウンセリングをまず最初に実施いたしました。その後、必要な子にはカウンセリングと6年生全体にもカウンセリングを行いました。全校の子ども達にも希望がある子にはカウンセリングを実施しました。そうした中で、ほぼカウンセリングは完了し、子ども達の気持ちも安定し、元気になってまいりました。20日の週からはカウンセリングの先生は通常勤務に戻りました。21日、22日には修学旅行がありました。元気に参加をしていました。当初、教頭先生が引率の中心という予定でしたが、急遽校長先生に変え、新たに4年生の時の担任も1名付けました。新聞記事でも取り上げていただきましたが、相撲観戦をし、夜もみんなしっかり寝て、浅草の仲見世の見学も行い、全員元気に帰ってきました。

新担任になりますが、修学旅行が終わるまでは、玉川小学校の村上先生という英語専科の先生と、もう1名の少人数教室の先生が緊急的措置として入っていましたが、27日の月曜日から新担任をお願いしました。先程の教育委員会関係の人事と関係しますが、公民館に勤務されている野澤幹雄先生は前玉川小学校の校長先生です。1番子どもの事も分かっており、保護者のことも分かっており、信頼される校長先生ということで、急遽担任をお願いしました。月曜日に全校集会を行って、子ども達に紹介しました。その後6年2部で野澤の方からこれからのクラスづくりについて語っていただきました。挨拶が終わった後には子ども達から拍手が起きました。私たちも野澤さんの手助けをし、子どもたちが教職員や大人への信頼を取り戻せるようにして参りたいと思います。

その後の進展の方は、以上となります。

尚、非違行為防止と研修等については、次の項目で改めてご説明をしたいと思います。

私からは以上となりますが、何かご質問等ありますでしょうか。

続きまして、その他2「各校の非違行為防止研修及び業務改善の取組みについて」となります。

永明小学校の計画書を使ってご説明したいと思います。30年度の業務改善となります。1番目の取り組んだこととなりますが、「質の高い学校・授業を創るための業務改善」です。これは、市内全小学校共通です。あくまでも、質の高い本来の学校の仕事である子どもの教育・授業をつくるための業務改善です。永明小学校の場合は、「豊かな学び合いをする子ども、子どもの人間関係づくりを支える教師」をサブテーマとしています。それから統括コーディネーターを核として、「育ちあいの」との連携による役割分担協働化というところが茅野市の大きな特徴となっています。成果として、時間外勤務時間を61.48時間から43.62時間のマイナス17時間の減少ということで、国が目標としている45時間のところを43時間で抑えています。ただ、これは月によって仕事の多い少ないがあるので、全部の月が平均してというわけではないので、変動はあります。会議の効率化により、子どもたちについて語り合う時間が増し、授業づくりが進むようになりました。児童のアンケートでは、先生が自分の話を聞いてくれると思った子ども達が昨年度よりも13%増えてきています。この数字から見たときに質の高い学校・授業を創るための業務改善という方向が定まってきたかなと思います。また、「育ちあいの」との家庭支援・児童支援の連携により子ども達の安定感にもつながり、不登校傾向の子ども達を学習へとつなげることも可能となってきました。来年度はさらにスリム化していき、「育ちあいの」との連携をさらに強めていこうと思います。今年度の業務改善の目標は昨年度と変わりありません。時間外勤務時間についても45時間以下。子どもについて語り合う職員集団をつくっていこうというのが永明小学校の考えになります。具体的な取り組みとして、事務的な会議は減らしていき、子どもについて語り合う会を開いていこうということで工夫されています。また、教室で仕事をするのではなく、職員同士で話し合いながら仕事をしていこうということです。統括コーディネーターにはさらに活躍してもらおうと思います。スクールサポートス

スタッフについても仕事をかなりやってくださっており、業務改善につながっています。校長、教頭は統括コーディネーターと連携し、職員の悩みや困り感に寄り添える努力をしていくかたちになっています。昨年度よりも職員の個別面談の数は増えてきています。

他の学校についても各ページに載っていますので、ご覧ください。

中学校については、部活の外部指導者の関係でもう少し時間を減らせるだろうなというところはあります。

次に非違行為防止についてですが、19 ページをご覧ください。こちらの資料は年度当初に市教委と県教委に提出する非違行為防止の研修計画と実施報告書になります。永明小学校を使ってご説明させていただきます。既に行ったことですが、4 月に永明小学校の教職員としての心構えについて校長から指導を受け、徹底すべきことを共通理解します。どの小学校もそうですが、校長先生自らどのような事について気を付けて頑張っていこうかを共通理解させる必要があります。非違行為根絶チェックシートがあり、それによる振り返りを行っています。児童に対する「性的行為」根絶に向け校内ルールを確認し、取り組みについて小グループで話し合います。校内のルールも確立しています。具体的には女の子の生徒指導を行う場合は必ず複数の教諭で行う。保護者と連絡を取り合う。生徒指導やカウンセリングの場所を見える場所で行うなど細かいところまで考えています。教師のわいせつ行為に関わる事案から非違行為根絶について小集団で話し合い、意見交換をするという取り組みも行っています。特にどの学校もそうですが、校長なり教頭から話し合う内容の提案をして資料を提示した上でグループの小集団で話し合い、より主体的な参加をしていき、小集団の意見をまとめていくことを大事にしています。5 月に市教委のコンプライアンス研修を受けて各学校でどのような課題があるか小集団で意見交換を行っています。6 月、7 月、8 月とずっとそれぞれの月の研修計画になります。県教委からの資料を使う場合、あるいは校長自作の資料を使う場合に学校の課題に基づいて研修を行う等各学校によって工夫されています。最低月 1 回の職員会の都度校長からの話やミニ研修を行い、繰り返し行っています。私たちが 1 番大切にしたいのは、1 つ目に繰り返し継続すること。2 つ目に心に届く研修をすること。3 つ目に管理職あるいは教職員同士の人間関係を豊かにしていくというこの 3 つをキーワードに今年度も進めていきたいと思います。

非違行為防止研修及び業務改善の取組については以上となります。ご質問等ありますでしょうか。

次にその他 3「みどりヶ丘保育園の統廃合に対する市の方針について」お願いします。

幼児教育課長

その他 3 の資料をご覧ください。みどりヶ丘保育園の統廃合に対する市の方針についてとなります。

資料説明（その他 3）

【概要】

茅野市保育園管理計画において、みどりヶ丘保育園の統廃合については、2023 年度を統廃合の目標年度とし、2020 年度までに検討委員会で決定するべく、平成 29 年(2017) 7 月からみどりヶ丘保育園検討委員会において検討を進めてきました。

検討を進める中で、宮川地区の児童数の動向を注視する必要性が出てきたため、統廃合の時期の見直しについて、市から提案を行いました。

市からの提案に対して検討委員会の承諾が得られ、提言する内容がまとまり、平成 31 年(2019)4 月 8 日にみどりヶ丘保育園検討委員会から市に提言書が提出されました。

提言に対し市の方針を 5 月 13 日にみどりヶ丘保育園検討委員会に回答しましたので、内容について報告いたします。

1 みどりヶ丘保育園検討委員会からの提言

＜みどりヶ丘保育園の今後の方針について＞

- (1) 10 年間はみどりヶ丘保育園を存続すること。
- (2) 宮川地区の児童数の動向等を、みどりヶ丘保育園の保護者会、宮川地区子育て部会、宮川地区区長会等に継続して報告することとし、耐震改修工事完了後の 2021 年 4 月から 10 年以降 3 園体制でも受け入れが出来る状況になった場合は、再度、統廃合の話し合いに応じる。
- (3) 10 年後の施設の使い方等については、その時のニーズに合わせて検討すること。
- (4) 10 年以降もみどりヶ丘保育園が存続することを望む。

＜みどりヶ丘保育園の整備の方針について＞

- (1) 子どもたちが安心・安全・快適な生活が出来るように整備を行うこととし、保護者会からの意見等を検討し計画を進めること。
- (2) 除却については、保護者会及びみどりヶ丘区からの要望について検討すること。

2 提言に対する市の方針について

＜みどりヶ丘保育園の今後の方針について＞

- (1) みどりヶ丘保育園を耐震改修完了後の 4 月から 10 年間存続します。
- (2) 今後は将来を見据えた人口統計分析を行い、宮川地区の児童数の動向等に関係する団体に継続して報告していきますので、10 年以降 3 園体制でも受け入れが出来る状況になった場合は、再度、統廃合の話し合いをお願いします。
- (3) 10 年後の施設の使い方等については、今までの検討委員会の経緯等を踏まえ

るとともに、その時のニーズに合わせて検討します。

- (4) 上記(2)のとおり、10年以降3園体制でも受け入れが出来る状況になった場合は、再度、統廃合の話し合いをお願いします。また、各区からの要望も併せて検討します。

＜みどりヶ丘保育園の整備の方針について＞

- (1) みどりヶ丘保育園建設委員会を立ち上げ、みどりヶ丘保育園保護者会と協議を行い、子どもたちが安心・安全・快適な生活ができるよう、下記の整備を行います。また、各区からの要望も併せて検討します。
- ①基礎、壁、接合部の耐震化をして安全を確保する。
 - ②屋根・外壁等の補修、床の張替、床暖房(0・1歳児)、照明LED等の整備を行う。
 - ③現在使用していない保育室、トイレ及び廊下は除却する。
 - ④冷房設備(エアコン)を令和元年6月までに整備する。
- (2) 現在使用していない保育室等の使い方については、みどりヶ丘保育園保護者会及びみどりヶ丘区と協議を行います。

3 これまでの経過

(1) 検討委員会の目的

- ①2020年度までにみどりヶ丘保育園の将来について、市長に提言することを目的にみどりヶ丘保育園検討委員会を設置し、平成29年(2017年)7月27日から平成31年(2018年)3月8日までに委員会を計9回開催

(2) 統廃合を検討することに至った要因

- ①少子化の影響により入園児童数が減少傾向
- ②税収入の減少による財政規模の縮小
- ③施設の老朽化に伴う更新費用の増
- ④保育士不足
- ⑤子育て世代への支援拡充(保育の無償化)による保育料収入の減少
- ⑥以上の課題に対する解決方策の検討

幼児教育課長

みどりヶ丘保育園の統廃合に対する市の方針については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

次にその他4「平成30年度相談状況について」をお願いします。

こども課長

その他4の資料をご覧ください。平成30年度の相談状況について報告をさせていただきます。平成30年4月から平成31年3月までの集計となります。内容別相談件数は合計で4,673件となります。カッコ内は新規の人数となります。新規取扱件数は減少していますが、延べ件数は平成29年度と比較すると増加しています。延べ件数が増加している要因としては、ケースの問題が複雑化し、終結しない継続支援が必要なケースが増え、関係機関との連絡調整、関係者会議等で関わる頻度が増加していることが影響していると考えられます。

性格行動、不登校の取扱件数が増えています。これは「育ちあいの」が立ち上げられ、各学校との連携が強化されたことによると思われます。

「育児・しつけ」の相談件数が減少しているのは、「3相談対象者人数」で示す通り、幼児に関する相談が減少によるものと思われます。

「その他」については大幅に減少していますが、30年度は「育ちあいの」の立ち上げに伴い、統計分類を整理し、「その他」については「特定妊婦等」と明確にしたことによりります。

2ページをご覧ください。形態別相談件数で多いのは、来室相談ですが、30年度は、電話相談の増加が顕著です。理由としては、「育ちあいの」のPRにより気軽に相談をかけやすくなったことが考えられます。

庁外相談のその他が大幅に減少した理由は、その他とカウントしていたケースごとの関係者会議を、今年度は、保育園・学校・施設等に割り振ったためです。

続いて、相談対象者人数になりますが、30年度の相談対象は小学生と中学生で半数を占めています。その理由として、「育ちあいの」の体制が整備されたことによると考えられます。

成人に関しては、カウントを「特定妊婦」の相談に限定したため、減少しています。

3ページをご覧ください。経路別相談件数についてですが、家庭・親戚が一番多く、次いでその他、学校の相談が多くなっています。

「その他」の増加は、家庭教育センターやCHUKO らんどチノチノでの相談件数の増加が反映されています。

続いて、虐待についてとなりますが、平成30年度の新規虐待通告は前年度とほとんど変わりませんでした。

延べ件数が多くなっているのは、前年度から引き続き継続支援が必要なケースが増えていることや個別ケース検討会議を定期的に行っていることが要因と思われます。

虐待ケースは継続支援が必要であり、簡単には終結できない複雑な要因があります。続いて、児童虐待の区分別相談件数の比較についてですが、区分としては、心理的虐待が39%と多く、続いて身体的虐待、ネグレクトと続いています。

心理的虐待は、家庭内でのDV（ドメスティック・バイオレンス）が子どもの面前で行われた場合にカウントすることから多くなっています。子どもが複数いる場合は全員をカウントしています。

続いて、5 ページをご覧ください。主な虐待者になりますが、実母 74%、実父 14%となっています。

被虐待児童の年齢について、0 歳～3 歳未満が 35%、3 歳～学齢前が 9%、小学生 43%、中学生 13%となりました。こどもの年齢が低いほど、生命の危険にさらされる度合いが高まり、市の健康管理センターや保健福祉SC、警察、児童相談所、学校、保育園、幼稚園、医療機関などの教育・福祉、医療との連携を図っていくことが大切であると考えます。

近年ではDV等による警察との連携が必要なケースも増えています。虐待通告経路について、30 年度は、諏訪児童相談所からこども課への虐待通告と安全確認が多くありました。

30 年度の相談状況については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

続いて、その他 5「平成 30 年度『早寝・早起き・朝ごはん』について」をお願いいたします。

畑中教育指導主事

その他 5 の資料をご覧ください。平成 18 年度から 12 年間続けた調査も一昨年をもちまして修了となりました。それとは別で、県からの同じような調査が 3 年に一回あります。また、中諏の栄養士会で毎年行っていますので、それらを参考にしながら早寝・早起き・朝ごはん及び子ども達の生活づくりの指導に活かしていきたいなと思います。合わせて全国協議会で作っている冊子が低学年用と高学年用であります。昨年からこれらを、新 1 年生全員に配布をしています。これを使いまして、各学校で生活づくりに関する指導を行っています。

早寝・早起き・朝ごはんについては以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますでしょうか。

続いて、その他 6「令和元年度主幹指導主事学校訪問日程について」をお願いします。

学校教育課長

その他 6 の資料をご覧ください。

先程の日程にてお話しさせていただきましたが、6 月 27 日の木曜日から金沢小学校を始めとして、9 月 26 日の宮川小学校まで開催されます。昨年度から全ての学校で半日日程に

よる訪問となっておりますので、午前中は 8 時 40 分から 12 時まで。午後は 13 時 10 分から 16 時 50 分となっております。各学校から案内通知によってご案内があると思いますが、訪問日時等につきましては、そちらで確認をしていただきたいと思います。

日程等都合が悪くなった場合につきましては、委員さんの中でそれぞれ都合をつけていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

主幹指導主事学校訪問日程については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

続いて、その他 7「令和元年度英語教育及び ICT 教育の状況について」をお願いします。

畑中教育指導主事

平成 29 年度に ICT 教育推進計画が出来上がり、それに基づき新学習指導要領の内容の先行実施と環境の整備を行ってきています。新しい学習指導要領では、情報活用能力を基盤的能力として位置付け、ICT 自身の学習と ICT の利用ということを謳っています。それに向け、昨年度からプログラミング教育を実施しています。小学校で 10 時間行っています。今年度は 5 年生でも半分やろうということで、5 年生と 6 年生で実施をしているところです。環境の整備におきましては、昨年の 2 学期には普通教室への大型テレビと教材の配信システムが整いました。現在は稼動し、活用されているところです。アイパッド等は小学校の先生が授業に持っていき、有効に活用されているところです。アイパッドは指導用と特別支援の子ども達の学習用として配置してあります。普通学級でも空いているアイパッドを利用してグループでの学習等に利用しています。特別支援学級の学習用としては、現場のニーズに合わせたアプリケーションをインストールし、活用されています。今年度は学習用タブレットと特別教室の無線環境の整備が計画されています。今後は ICT 環境が有効に利用されていくことと、学習用に整備されてきたときに、現場の先生方が授業観を少し変えていかなければいけないように感じます。それに対する研修等も計画し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりが非常に重要な課題となってくるかなと感じます。

以上となります。

こども部長

タブレットの配置になりますが、先程ご説明させていただきましたが、補正予算での対応となります。概ね 1 つの学校に対して、1 つの学年が同時に使えるだけの数を現在予算として提出しています。従いまして、児童生徒数でいきますと、約 1,300 台ほどの数となります。その後に教職員用等が納入される予定となっています。

教育長

ありがとうございました。続いて英語教育についてお願いいたします。

学校教育課長

英語教育についてですが、昨年に引き続き山岡教育支援指導主事が担当をし、各学校を回って指導をしていただいているところです。山岡先生ですが、聞く・話す力を一層高めることに力を置いて指導されています。今年度の小学校イングリッシュキャンプにつきましては、7月25・26日の2日間で青少年自然の森を会場に開催する予定です。今年ですが、ロングモント市の子供たちが訪れるのと重なることから、一部日程を合わせた活動をする事で予定をされています。また、10月26日には昨年度実施した「小学生英語スピーチコンテスト」の名称を改めまして、「小学生英語の集いイングリッシュセッション」として今年も開催をします。今年度はスピーチに限定せず、スピーチ、合唱、劇、話し合い、読み聞かせ等の英語に関わる様々な活動の発表の場として開催を予定しています。また、山岡先生より先生達の英語の力を付けるという部分もご尽力いただいています。

以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

矢崎職務代理者

イングリッシュセッションについてですが、去年と同じように審査会というものはないですか。

教育長

今年度はコンテスト形式では行いません。少し方法を変えて行ってみようと思っております。コンテスト形式で行う部分も入ってくるかもしれませんが、細かい部分については、今後の校長会で決めていきたいと思っております。

他にご質問等ありますか。

次にその他8「台湾交流事業について」お願いします。

学校教育課長

今年度の台湾交流事業についてですが、10月28日から11月1日までの4泊5日の日程で予定しています。6月中に各校から6名ずつ選考をし、7月中に説明会、9月に団結式を経て5,6回の事前学習をした後に渡航をする予定です。また、年内に報告会を開催したいと考えています。結団式、報告会には教育委員さんのご出席をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上となります。

教育長

ありがとうございました。

ご質問等ありますか。

次にその他 9「前宮遺跡の発掘調査について」をお願いします。

生涯学習部長

資料のその他 9 をご覧ください。前宮遺跡の発掘調査についてご説明させていただきます。

資料説明（その他 9）

【概要】

1 発掘調査の原因と発掘地

市都市計画課による高部・安国寺地区歴史環境整備事業交流広場(仮称)の整備に伴う発掘調査。調査対象地約 3,000 m²のうち、擁壁・園路・交流施設建設地の約 700 m²を発掘予定。

発掘地は、県史跡諏訪大社上社前宮神殿跡(昭和 39 年 8 月 20 日指定)から前宮本殿へ向かう参道右側の市有地(旧水田と民家跡地)

2 周辺の環境と過去の調査

発掘地は、中世・諏訪神社大祝の居館である県史跡諏訪大社上社前宮神殿跡に隣接する場所である。このため、発掘地に接して御室社・鶏冠社があり、明治時代には発掘地下段の畑から三河守照雲(大祝頼重)の墓標と言われる五輪塔と石造多宝塔が発掘されている。周辺には前宮神殿跡を中心に大祝に関する史跡や社殿のほか、市史跡樋沢古墳・蛇塚古墳なども残されている。

前宮遺跡は縄文時代から中世にかけての遺跡で、市教委では、今回の発掘地の西側に続く地点で、過去 2 回の宅地造成に伴う発掘調査で古墳時代の竪穴住居址 1 ヲ所、平安時代の竪穴住居址 1 ヲ所を発掘している。

3 発掘の経過と確認された遺構

発掘調査は 4 月 22 日から 6 月 28 日までの予定である。現在は対象地の西側において、擁壁・園路部の調査を続行中である。

これまで(5 月 14 日まで)に発掘した遺構は、古墳時代の竪穴住居址 1 ヲ所、古墳時代の土坑(墓と思われる)1 ヲ所、時期不明の竪穴住居址 1 ヲ所、時期不明の土坑 2 ヲ所で、現在は平安時代とみられる竪穴住居址 1 ヲ所を調査中である。このほか、古墳時代～平安時代

とみられる竪穴住居址3ヵ所と土坑数ヵ所の存在を確認している。出土遺物は、土師器、須恵器、中・近世の陶磁器類であるが、後世の水田造成に原因するものか、微細な破片が多い。

発掘区全体は水田造成によって何回か削平されているようで、加えて大小多量の安山岩が包含された地山面が露出しており、遺構の検出は容易でない。

なお、交流施設建設地については厚い盛土によって旧屋敷地が造成されており、遺物包含層まで数メートル程度の深さがある。このため、重機によるトレンチの深掘り調査で対応している。

4 今後の調査予定

4月22日から始めた擁壁・園路部の調査は、現在約1/2ほどの面的調査が終わり、今後は残りの面的調査と測量調査を行う。また、交流施設建設地では4本のトレンチのうち、1号トレンチで土層の詳細調査を実施する予定である。

なお、6月に現地説明会を開催する予定である。

生涯学習部長

前宮遺跡の発掘調査については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

次に昨日の川崎市の事件について私からご説明させていただきます。川崎市の事件を受けて教育委員会としての考えがまとまりだしましたので、木曜日に臨時の校長会を開き、校長先生とさらに良い案になっていくよう対応していきたいと思います。また、臨時の校長会が終わったところで、具体的な内容をお知らせしたいと思います。

こども部長

保育園については、大津市の交通事故を受けまして、教育委員会として直ちに園長会を開き、散歩コースについて安全確認をするとともに、コースについて教育委員会へ提出していただきました。危険箇所等の洗い出しを教育委員会の幼児教育課と一緒にさせていただき、その中で都市建設部、警察、国道事務所、県の建設事務所と連携し、安全対策についてソフト、ハード面で検証を行いました。今後こういった事が出来るのかを持ち帰り、現地を見ながらハード対策ができるかどうか、ソフト対策についてはこういった事ができるのかを検証する運びとなっています。

教育長

ありがとうございました。幼保小連携を活かし、茅野市内のすべての子ども達を守る体制で取り組んで参りたいと思います。

最後に事務局より次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回6月の予定になります。定例教育委員会を6月26日（水）午前9時30分から705会議室で行います。事務局会議については、6月12日（水）午後1時30分から704会議室にて行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。以上で5月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和元年 6 月 26 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長